

●記録

『関西学院大学産業研究所 75 年の歩み』第Ⅳ部 資料 補遺版第 3 部（2020～2024 年度）

関西学院大学産業研究所が設立されたのは 1934 年 4 月であり、記録によれば大学昇格とともに前身の高等商業学部調査部を改称し、大学商経学部へ付置とある。以来 2025 年 3 月末をもって 91 年を経過したこととなる。60 周年の際には、記念として『産業研究所六十年の回顧と展望』を八千代出版から 1995 年 11 月に刊行した。また 75 周年の際には、『関西学院大学産業研究所 75 年の歩み』を関西学院大学出版会から 2011 年 3 月に刊行した。これを継いで 2010 年度以降 5 年毎の記録を 80 周年、85 周年の節目に産業研究所 75 年史「第Ⅳ部 資料」の補遺版として『産研論集』第 43 号、第 48 号に掲載した。今般、90 周年の記念として 2020～2024 年度の記録を補遺版第 3 部としてまとめ、『産研論集』第 53 号に掲載することとなった。この小編がやがて新たな産業研究所史が編纂される際の基礎資料となることを期する次第である。

(産業研究所)

- I. 年表（2020 年（令和 2 年）4 月以降～2025 年（令和 7 年）3 月まで）
- II. 出版物の記録
- III. 講演会・シンポジウムなど

●記録

『関西学院大学産業研究所 75 年の歩み』第Ⅳ部 資料 補遺版第 3 部 (2020 ~ 2024 年度)

I. 年表 (2020 年 (令和 2 年) 4 月以降 ~ 2024 年 (令和 6 年) 3 月まで)

年度	学長	所長	人事・研究・出版・講演会など	大学・運営委員・その他
2020 (令和 2)	村田治	広瀬憲三	4 広瀬憲三 (商学部教授) 所長就任 4 小林伸生 (経済学部教授) 副所長就任 9 連携授業「経済事情 F」スタート (全 14 回) 10 日・EU フレンドシップウィーク (クイズのみ) 11 連携シンポジウム「コロナ後のグローバル経済の可能性を考える」 12 駐日欧州連合代表部オンライン訪問 3 市川顕・高林喜久生編著『EU の規範とパワー』(産研叢書 44、中央経済社) 刊行 3 『産研論集』第 48 号刊行	4 運営委員: 広瀬憲三 (所長)、小林伸生 (副所長)、西村智、岡村秀夫、小西砂千夫、大熊省三、ホルガー・ブングシェ、吉田元子、高原基彰
2021 (令和 3)	村田治	広瀬憲三	4 共同研究「Regional Industries and Economic Development in the EU and Japan—Will Multiple Crises Foster New Regionalisms?」がスタート 6 JMC 高等部レクチャー「EU の基本、経済、政治、労働、そして今の EU」 6 日・EU フレンドシップウィーク 6 講演会「The process of Italian unification (19th century) and responses from European nations」 6 EU オンラインクッキング 8 PBL 特別演習 002【JETRO × 産研連携講座】 9 EU・日本研究若手研究者向けオンラインワークショップとネットワークイベント 9 連携授業「経済事情 F」スタート (全 14 回) 11 連携シンポジウム「関西企業のグローバルビジネスへの取り組み策 (人材編・高度外国人材の活用)」 12 JMM ワークショップ「日本とドイツの地方の活性化—イノベーションと起業で地方に魅力とレジリエンスを」 12 駐日欧州連合代表部オンライン訪問 3 JMM カンファレンス「地方の再生化: 産業、経済と社会的条件」 3 栗田匡相編著『エビデンスで紐解く地域の未来』(産研叢書 45、中央経済社) 刊行 3 『産研論集』第 49 号刊行 3 広瀬憲三 (商学部教授) 所長退任 3 小林伸生 (経済学部教授) 副所長退任	4 運営委員: 広瀬憲三 (所長)、小林伸生 (副所長)、西村智、岡村秀夫、柴田学、ホルガー・ブングシェ、吉田元子、高原基彰
2022 (令和 4)	村田治	豊原法彦	4 豊原法彦 (経済学部教授) 所長就任 4 山口隆之 (商学部教授) 副所長就任 4 2021 年度未廃止となった先端社会研究所にかわり、特定プロジェクト研究センターに関する業務の窓口となる。 4 共同研究「経営学における価値の研究」スタート 5 レファレンス・レビュー終了 5 JMC 高等部レクチャー「21 世紀に直面する EU (欧州連合) の挑戦 (Challenges the EU Faces in the 21st Century)」 6 日・EU フレンドシップウィーク 6 JMC 講演会「日本と EU: 激動の時代における戦略的パートナーシップ—経済的・政治的課題」 6 講演会「ヨーロッパの若者たち: それほど楽な人生ではない理由」 6 JMM 講演会「ドイツ農村部における高齢化と医療」 7 セミナー「アントレプレナーによるソーシャル・イノベーションの創出—移住、起業がもたらす農村地域社会変革の可能性を探る—」 7 JMC 企業訪問 IKEA 神戸 8 Anna Schrade 著『A journey through Europe: Societies, politics, and contemporary issues in the EU』(関西学院大学出版会) 刊行 8 PBL 特別演習 002【JETRO × 産研連携講座】	4 運営委員: 豊原法彦 (所長)、山口隆之 (副所長)、上村敏之、井上達男、笹川敏彦、渡邊勉、平松燈、荒川雅行

『関西学院大学産業研究所 75 年の歩み』第Ⅳ部 資料 補遺版第 3 部 (2020 ～ 2024 年度)

			<p>9 Erasmus + Programme に関する業務及び EU 情報センター (Eui) に関する業務を、2023.4～国際学部へ移管することとし「EU 関連業務の移管に関する覚書」に署名。</p> <p>9 連携授業「経済事情 F」スタート (全 14 回)</p> <p>9 JMM (第 2 期) 助成期間終了</p> <p>10 兵庫県立大学政策科学研究所と連携協定締結。</p> <p>11 連携シンポジウム「脱炭素社会の「未来」を拓く「アンモニア」の可能性」</p> <p>11 JMC EU 合宿「新しいライフスタイルと地方のまちづくり—EU と日本の地方事例を考える—」</p> <p>12 連携シンポジウム「SDGs の視点からのサプライチェーンマネジメント検証」</p> <p>12 講演会「日本の地域と世界を直接繋ぐ！—公的機関でのグローバルな働き方—」</p> <p>12 JMC 駐日欧州連合代表部訪問ツアー</p> <p>12 JMC プロジェクト・ワークショップ「地域産業と経済発展—日本との比較」</p> <p>2 シンポジウム「経済学は社会でどのように役立つのか」</p> <p>3 シンポジウム「電気料金高騰への対応」</p> <p>3 水野敏三編著『地域活性化の経済分析—官と民の力を活かす—』(産研叢書 46、中央経済社) 刊行</p> <p>3 『産研論集』第 50 号刊行</p> <p>3 アンナ・シュラーデ産業研究所准教授退任、退職</p> <p>※ 2022 年度は、産業研究所規定に基づく事業評価を受け、11 月の大学評議会において「事業評価を受けての学長提案」が承認された。</p>	
2023 (令和 5)	森康俊	豊原法彦	<p>4 共同研究「グリーンウォッシュの経済分析」スタート</p> <p>5 JMC 高等部レクチャー「欧州統合への異見—ソフパワーとしてのヨーロッパを確立する」</p> <p>6 JMC 企業訪問 DMG 森精機株式会社</p> <p>7 JMC EU 合宿 フォルクスワーゲングループ ジャパン(株)、トヨタ会館</p> <p>8 JMC カンファレンス「ポストコロナ時代の地域経済と産業：ヨーロッパと日本の課題」</p> <p>8 PBL 特別演習 002 【JETRO × 産研連携講座】</p> <p>8 JMC EU フィールド・スタディー</p> <p>8 プングシェ・ホルガー編著『ポストコロナ時代の地域経済と産業—ヨーロッパと日本の課題』(産研叢書 47、中央経済社) 刊行</p> <p>9 連携授業「経済事情 F」スタート (全 14 回)</p> <p>9 JMC 助成期間終了</p> <p>10 講演会「Mission Latvia. A country where determined people have a mission and ambitions—ラトビア、鋼の意思を持つ人々がミッションと大志を抱く国」</p> <p>11 連携シンポジウム「サステイナブルな社会と日本酒の世界—脱炭素社会実現への道のり—」</p> <p>12 講演会「さあ、インドに行こう！—インドの魅力を探るセミナー」</p> <p>12 関西公共経済学研究会 20 周年記念講演会</p> <p>3 連携シンポジウム「共生と芸術文化—持続可能社会の実現のために—」</p> <p>3 『産研論集』第 51 号刊行</p> <p>3 豊原法彦 (経済学部教授) 所長退任</p> <p>3 山口隆之 (商学部教授) 副所長退任</p>	<p>4 運営委員:豊原法彦 (所長)、山口隆之 (副所長)、上村敏之、井上達男、笹川敏彦、渡邊勉、平松燈、神戸秀彦</p>
2024 (令和 6)	森康俊	山口隆之	<p>4 山口隆之 (商学部教授) 所長就任</p> <p>4 豊原法彦 (経済学部教授) 副所長就任</p> <p>4 共同研究『中小企業会計における最先端デジタル技術の活用に関する研究』スタート</p> <p>7 講演会「一卒業生の経験談—これからのグローバル社会に求められる人材について考える—」</p> <p>10 研究コーディネーターが着任し、他機関との新たな連携事業の検討を開始。</p> <p>11 シンポジウム「日本酒のためのコメづくり—酒造好適米の歴史と持続可能性—」</p>	<p>4 運営委員:山口隆之 (所長)、豊原法彦 (副所長)、上村隆之、阿萬弘行、松本秀暢、神戸秀彦、星久仁子 (7/24 まで)、加藤雄士 (7/25 以降)、森藤ちひろ</p>

			11 講演会「万博と SDGs ～半世紀前のサステナビリティと半世紀後のサステナビリティを考える～」
			12 連携シンポジウム「震災記憶の継承と地域社会—持続可能社会におけるレジリエンス—」
		2	連携シンポジウム「地球環境に優しい街づくり—脱炭素社会にむけた都市設計—」
		2	亀田啓悟編著『財政学・公共経済学の発展と展望』(産研レクチャー・シリーズ、関西学院大学出版会) 刊行
		3	Edites by Toshihiko Ishihara『Value Research in Management Studies』(産研叢書 48、中央経済社) 刊行
		3	『産研論集』第 52 号刊行
		3	EUIJ 関西の活動終了

Ⅱ. 出版物の記録

1. 『産研論集』

第 48 号 (2021 年 3 月)

●企画論文●「新型コロナウイルスをめぐる社会的混乱と政策」

責任編集 小林 伸生 産業研究所副所長 / 経済学部教授

OECD 主要指標から見る新型コロナウイルス禍の影響：中国、日本、米国……………根岸 紳

新型コロナウイルス感染症をめぐる社会的混乱と政策

—航空・鉄道会社に与えたインパクトと今後の解決策—……………野村 宗訓

COVID-19 による大阪経済への影響と経済政策……………越村惣次郎・松永 有生

Coronavirus Pandemic and Online Services in Japan: Urgent Need for Digitalization

……………WATANABE Hiroaki Richard

●論 文●

創造的人財としての経営管理者の育成とイノベーション

—「創造性マネジメントのシステムモデル」における態度技法の展開—……………徳崎 進

●研究ノート●

スキーマの概念とスキーマ療法のレビューに関する一考察

—スキーマの修復に関する人材開発手法の研究のために—……………加藤 雄士

●研 究●※査読付き論文

※消費税の軽減税率による死荷重損失……………田代 歩

※移転価格税制による多国籍企業の戦略的不確実性への影響

—TNMM と新興諸国での課税を中心に—……………市場 哲也

●書 評●

広瀬憲三編著『関西復権の道—アジアとの共生を梃子として—』(関西学院大学産研叢書 43)

……………松林 洋一

●レファレンス・レビュー研究動向編●

第 65 巻 1 号～ 6 号 (2019 年 7 月～ 2020 年 5 月)

●記 録●

『関西学院大学産業研究所 75 年の歩み』第Ⅳ部 資料 補遺版第 2 部 (2015 ～ 2019 年度)

……………産業研究所

第49号 (2022年3月)

●企画論文●

「Coping with demographic change. New attempts in the EU and/or Japan to stem the demographic challenges.」

責任編集 アンナ シュラーデ 産業研究所准教授

Foreword by the editor.....SCHRADE Anna

Coping with low fertility rates in OECD countries: the case of Japan.....WATANABE Hiroaki Richard

Japan and Diversity as a Strategy to Successfully Manage Demographic Change.....RIMINUCCI Michela

Revitalising and rejuvenating the countryside through foreign workers:

a case study of the Technical Intern Trainees working in oyster farming in Hinase (Okayama Prefecture)

.....SCHRADE Anna

Memory, influence and rural re-vitalization in Hyogo Prefecture:

preparing to evaluate visitor memories of the Osaka World Expo 2025.....JACKSON Keith Geoffrey

A new regional development policy in the UK: the 'levelling up' agenda.....RAWLINSON Francis

●研究●※査読付き論文

※大規模地震における災害対応の財源スキーム

—平成期の災害財政と被災者生活再建支援法の対応を中心として—.....細井 雅代

※取引単位営業利益法の影響を受ける業績評価の適正化への示唆

—管理会計の観点からの移転価格課税理論の分析—.....市場 哲也

●書評●

市川 顕・高林喜久生編著『EUの規範とパワー』(関西学院大学産研叢書44).....香川 敏幸

●レファレンスレビュー研究動向編●

第66巻1号～6号(2020年7月～2021年5月)

第50号 (2023年3月)

●企画論文●「クラウド会計の活用による中小企業会計

デジタル・トランスフォーメーション(DX)のケース・スタディ」

責任編集 菅原 智 商学部教授

序説.....菅原 智

大学発ベンチャー企業におけるクラウド会計の導入

—徳島県鳴門市において昆虫食を通じた食糧問題解決を目指す株式会社グリラスを事例として—

.....笠岡恵理子

地域に根ざした企業におけるクラウド会計活用事例

—青森県三八上北地方と世界を繋ぐ中小企業—.....内藤 周子

農業経営法人におけるクラウド会計活用事例

岩手県遠野で農業を介したまちおこしに奮闘する BEER EXPERIENCE 株式会社.....菅原 智

中小企業におけるクラウド会計の導入要因とリスクに関する探索的研究:

4事例のケース・スタディにもとづいて.....加納 慶太

地方公共団体のDX推進とクラウド公会計.....児島 幸治

●論文●

関西の地域創生と外国人材の活用に関する予備的考察

—学生の国際交流が有する可能性を意識して—.....志甫 啓

●書 評●

栗田匡相編著『エビデンスで紐解く地域の未来』(関西学院大学産研叢書 45)……………矢口 芳生

●レファレンス・レビュー研究動向編●

第 67 巻 1 号~ 6 号 (2021 年 7 月~ 2022 年 5 月)

第 51 号 (2024 年 3 月)

●企画論文●「ファミリーアントレプレナーシップ—同族経営旅館の事例研究—」

責任編集 児島 幸治 国際学部教授

ファミリーアントレプレナーシップ—同族経営旅館の事例研究：序説—……………児島 幸治

日本橋 ホテルかずさや—環境変化と経営転換—……………潮 清孝 / 児島 幸治

コロナ禍の同族経営旅館—花巻 大沢温泉—……………菅原 智

同族経営スタイルの脱却を図る同族経営事例研究—知内温泉ユートピア和楽園—……………内藤 周子

宿泊客に選ばれ続けるための同族経営事例研究—東京都府中市の HOTEL 松本屋 1725—

……………内藤 周子

鳥羽温泉郷における同族旅館経営—老舗旅館・戸田家の事例—……………吉良 友人

道後温泉地区における自治体と民間による地域活性化の事例研究

—老舗旅館道後温泉ふなやを中心に—……………加納 慶太

同族旅館経営者によるエフェクチュエーションとファミリーアントレプレナーシップ……………児島 幸治

●投稿 (学内教員) ●

〈論文〉

経営学における実践共同体研究の展開と展望……………今井 悠資 / 松本 雄一

COVID-19 パンデミック下における企業価値と情報開示……………譚 鵬

〈研究ノート〉

中小企業の経営診断教育に関する一考察 (5)—診断実習プロセスを意識した教育を中心として—

……………加藤 雄士

●投稿 (大学院生・研究員等) ●※査読付き論文

※多国籍企業における SDGs に関する一考察—「本社—子会社関係」の視点から

……………古沢 昌之 / 中岡 孝剛

※キャッシュフロー法人税の課税ベースの実証分析—日本の機械系産業を中心に—

……………藤田 和輝

●書 評●

水野敬三編著『地域活性化の経済分析—官と民の力を活かす—』(関西学院大学産研叢書 46)

……………赤井 伸郎

第 52 号 (2025 年 3 月)

●企画論文●「会計のデジタル化に関するケース・スタディ」

責任編集 菅原 智 商学部教授

序説：会計のデジタル化に関するケース・スタディ

—中小企業、会計士・税理士、会計ソフトベンダーの視点から—……………菅原 智

中小企業経営者のデジタル自己効力感と企業業績の関係に対する外部会計士からの

デジタル化に関するアドバイスの調整効果……………菅原 智

顧問先企業のクラウド会計導入に関する現状 —TKC 会員 楠典子税理士事務所の事例—	東 幸代
医療機関における RPA の導入について —大病院との比較による小病院における課題の明確化—	景山 愛子
クラウド会計の導入による税理士業務への影響 —蟹山昇宏税理士事務所を事例として—	笠岡恵理子
クラウド会計の導入と課題 —岡山県の税理士法人と企業へのインタビュー調査をもとに—	吉良 友人
中小規模地方自治体における DX 推進と官民連携 —兵庫県豊岡市の事例—.....	児島 幸治
デジタル化が進展する社会における職業会計人の役割 —事業継承を専門とする会計事務所の事例をもとに—.....	内藤 周子
会計ソフトベンダーによる業務のデジタル化が職業会計士に与える影響 —JDL インタビュー調査にもとづいて—.....	加納 慶太
●投稿 (大学院生・研究員等) ●※査読付き論文	
※土地付注文住宅の資本コスト —2010 年代の推計—.....	本多 真紀
●書 評●	
ブングシェ・ホルガー編著『ポストコロナ時代の地域経済と産業—ヨーロッパと日本の課題』 (関西学院大学産研叢書 47).....	風間 信隆

2. 『産研叢書』

- 44 市川 顕・高林喜久生編著『EU の規範とパワー』
中央経済社より、2021 年 3 月 30 日刊行。
執筆者：鈴木 謙介 (関西学院大学社会学部准教授)
望月 康恵 (関西学院大学法学部教授)
武田 健 (東海大学政治経済学部講師)
吉沢 晃 (関西大学法学部准教授)
市川 顕 (東洋大学国際学部教授)
東野 篤子 (筑波大学人文社会系准教授)
山川 卓 (立命館大学情報理工学部授業担当講師)
松尾 秀哉 (龍谷大学法学部教授)
小林 正英 (尚美学園大学総合政策学部准教授)
福海さやか (立命館大学国際関係学部准教授)
高林喜久生 (関西学院大学経済学部教授)
- 45 栗田匡相編著『エビデンスで紐解く地域の未来』
中央経済社より、2022 年 3 月 30 日刊行。
執筆者：秋吉 史夫 (関西学院大学経済学部教授)
並木 志乃 (東京大学大学院情報学環客員研究員 博士 (学際情報学))
長松奈美江 (関西学院大学社会学部准教授)
瀬戸 昌宣 (NPO 法人 SOMA 代表理事)
栗田 匡相 (関西学院大学経済学部教授)

- 46 水野敬三編著『地域活性化の経済分析—官と民の力を活かす—』
中央経済社より、2023 年 3 月 30 日刊行。
執筆者：水野 敬三（関西学院大学商学部教授）
猪野 弘明（関西学院大学経済学部教授）
小嶋 健太（関西大学経済学部准教授）
三木 潤一（東北公益文科大学公益学部教授）
高林喜久生（大阪経済法科大学経済学部教授）
川崎雄二郎（名古屋工業大学大学院工学研究科准教授）
松枝 法道（関西学院大学経済学部教授）
- 47 ブングシェ・ホルガー編著『ポストコロナ時代の地域経済と産業—ヨーロッパと日本の課題』
中央経済社より、2023 年 8 月 31 日刊行。
※本書はジャン・モネ・チェアの研究成果を兼ねる。
執筆者：岡本 丈彦（高松大学経営学部准教授）
吉田 元子（関西学院大学法学部教授）
ブングシェ・ホルガー（関西学院大学国際学部教授）
藤沢 武史（関西学院大学商学部教授）
ローリンソン・フランシス（関西学院大学フェロー）
藤原 直樹（追手門学院大学地域創造学部教授）
シュラーデ・アンナ（元関西学院大学産業研究所准教授）
- 48 Edited by Toshihiko Ishihara 『Value Research in Management Studies』
中央経済社より、2025 年 3 月 31 日刊行。
執筆者：石原 俊彦（関西学院大学経営戦略研究科教授）
原田賢一郎（東北大学大学院法学研究科教授）
児島 幸治（関西学院大学国際学部教授）
ビシュヌ・クマル・アディカリー（兵庫県立大学ビジネス研究科教授）
菅原 智（関西学院大学商学部教授）
クラウディオ・デレラ（ミラノ工科大学経営学部教授）
オチロフ・ボブル・バクティヨール（タシュケント国立経済大学講師）
ハイダー・モハマト（関西学院大学経営戦略研究科准教授）
アクター・タスリマ（関西学院大学国際学部専任講師）
井上 直樹（福知山公立大学地域経営学部教授）
谷岡 慎一（豊岡市くらし創造部長）
日廻 文明（関西学院大学経営戦略研究科教授）
酒井 大策（大阪経済大学国際共創学部准教授）
関下 弘樹（和歌山大学経済学部准教授）
松尾 亮爾（関西学院大学経営戦略研究科准教授）
荒木 利雄（福山大学経済学部教授）

3. 『産研レクチャー・シリーズ』

赤井伸郎・上村敏之・亀田啓悟編著、関西公共経済学研究会・関西学院大学産業研究所編
『財政学・公共経済学の発展と展望』

関西学院大学出版会より、2025 年 2 月 28 日刊行。

執筆者：赤井 伸郎 (大阪大学大学院国際公共政策研究科教授)

上村 敏之 (関西学院大学経済学部教授)

亀田 啓悟 (関西学院大学総合政策学部教授)

井堀 利宏 (政策研究大学院大学名誉教授)

岩本 康志 (東京大学大学院経済学研究科教授)

林 正義 (東京大学大学院経済学研究科教授)

小川 光 (東京大学大学院経済学研究科教授)

土居 丈朗 (慶應義塾大学経済学部教授)

佐藤 主光 (一橋大学大学院経済学研究科教授)

4. その他

Anna Schrade 著『A journey through Europe: Societies, politics, and contemporary issues in the EU』

関西学院大学出版会より、2022 年 8 月 31 日刊行。

※ジャン・モネ・モジュール (JMM) 事業の一環。

Ⅲ. 講演会・シンポジウムなど

【2020 年度】

(※所属・役職等は開催時点のもの)

関西学院大学産業研究所×日本貿易振興機構(ジェトロ)×産経新聞社 連携シンポジウム「コロナ後のグローバル経済の可能性を考える」				
開催日時	2020年11月26日(木) 13:30～16:30	場所	西宮上ヶ原キャンパス 関西学院会館「光の間」	参加者
概要	<第1部> 開会あいさつ：広瀬憲三(関西学院大学産業研究所長/商学部教授) 基調講演「コロナ後のグローバル経済と関西の展望」(収録出演) 米村 猛(経済産業省近畿経済産業局長) 特別講演①「コロナ禍で注目を集める EC ビジネス」 根本裕之(日本貿易振興機構(ジェトロ) 大阪本部長) 特別講演②「コロナ下の研究医療の成果加速に貢献する、関西発 EC 企業のグローバル展開」 井内卓嗣(アズワン株式会社代表取締役社長) <第2部> パネルディスカッション「コロナ後のグローバル経済の可能性を考える」 登壇者：青木 登(経済産業省近畿経済産業局通商部長)、根本裕之、井内卓嗣 コーディネーター：小林伸生(関西学院大学産業研究所副所長/経済学部教授)			50名
備考	主催：関西学院大学産業研究所、日本貿易振興機構(ジェトロ)、産経新聞大阪本社 後援：経済産業省近畿経済産業局 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場の参加者数を制限し、YouTube による同時配信を併用して開催。 当日オンライン参加者 54 名。			

【2021 年度】

(※所属・役職等は開催時点のもの)

日・EU フレンドシップウィーク 2021 講演会「The process of Italian unification (19th century) and responses from European nations (イタリア統一の課程 (19 世紀) と欧州各国の対応)」				
開催日時	2021年6月23日(水) 13:20～15:00	場所	Zoom によるオンライン開催	参加者
講師	ルイーダ・ディオダーティエ(在大阪イタリア総領事館総領事)	司会	アンナ・シュラーデ(関西学院大学産業研究所准教授)	14名
備考	※日・EU フレンドシップウィーク 2021 およびジャン・モネ・モジュール事業の一環			
関西学院大学産業研究所×日本貿易振興機構(ジェトロ)×産経新聞社 連携シンポジウム「関西企業のグローバルビジネスへの取り組み策(人材編・高度外国人材の活用)」				
開催日時	2021年11月1日(月) 13:30～16:00	場所	西宮上ヶ原キャンパス 関西学院会館「光の間」	参加者
概要	開会挨拶：広瀬憲三(関西学院大学産業研究所長/商学部教授) 公開座談会：「関西経済の国際化に必要な高度外国人材の活用について」 登壇者：中田 寛(株式会社中田製作所代表取締役) 金 美蘭(同・生産管理課アジア地区担当兼採用担当) ファム ティ ソアン(同・製造管理課 CAD 係) 蒲原朗子(日本貿易振興機構(ジェトロ) 大阪本部ビジネス情報提供課長) 黒川信雄(産経新聞社大阪本社経済部) ファシリテーター：アンナ・シュラーデ(関西学院大学産業研究所准教授) 開会挨拶：根本裕之(日本貿易振興機構(ジェトロ) 大阪本部長)			2名
備考	主催：関西学院大学産業研究所、日本貿易振興機構(ジェトロ) 大阪本部、産経新聞大阪本社 ※11月24日に YouTube でシンポジウムの動画を公開。			
ジャン・モネ・モジュール ワークショップ「日本とドイツの地方の活性化イノベーションと起業で地方に魅力とレジリエンスを」				
開催日時	2021年12月3日(金) 13:20～16:40	場所	西宮上ヶ原キャンパス 大学図書館ホール、Zoom によるオンライン開催	参加者
概要	開会挨拶：アンナ・シュラーデ(関西学院大学産業研究所准教授) ●日本 <第1部> 持続可能な社会で地方を強くする 「有機農業による休耕地の再生と SDGs に沿った里山活動のコミュニティ形成」【英語】 ハイラム・イナソル(ピースアンドネイチャー創業者、代表理事) 「持続可能な建築による農村地域の魅力の向上：大沢(神戸)のケーススタディ」【英語】 ヴィヴィアナ・デブラシ(建築家、ピースアンドネイチャーメンバー) 「国内移住者による地域活性化：藤野(神奈川)の持続可能な農業とエコツーリズム」【英語】 カオリ・ナギー(傘松ファーム・横村エコロッジ オーナー、ファブリック(マレンロウ・グループ関連会社) ビジネスディレクター) <第2部> 最先端のリウマチ治療を地方へ展開する方法 「地方の医療革新 長野に専門医による最先端のリウマチ医療を提供する」【日本語】 吉田智彦(医療法人社団東信会理事長、Newsweek 誌 Challenging Innovator 2021) ●ドイツ(EU) <第3部> 文化・観光による地方の活性化 「欧州文化首都プログラムによる衰退した地域の活性化」【英語】 ホルガー・ブングシェ(関西学院大学国際学部教授) <第4部> ドイツにおける優れたケーススタディ：繁栄する村の秘密 「ドイツの地方開発：ドイツの田舎がますます魅力的になっている理由」【英語】 アンナ・シュラーデ(関西学院大学産業研究所准教授) 「求められるものはすべて提供する：南ドイツの田舎町で新しい住民や企業を誘致する方法—ミュンゼン(ドイツ)の例」【ドイツ語(英語への通訳あり)】 サラ・ローロフ(ミュンゼン市経済振興局) 「家庭を大切に、できるだけ長く活動的に：LEADER 地域であるヴェルテンベルク・アルゴイ(ドイツ)の地域開発」【英語】 クレメンツ・シュタッドラー(ヴェルテンベルク・アルゴイ(ドイツ) 地域開発局ディレクター) まとめ・開会挨拶：アンナ・シュラーデ(関西学院大学産業研究所准教授) 進行・コーディネーター：アンナ・シュラーデ(関西学院大学産業研究所准教授)			25名
備考	主催：関西学院大学産業研究所 ※内オンライン参加者 15 名。			

『関西学院大学産業研究所 75 年の歩み』第Ⅳ部 資料 補遺版第 3 部 (2020～2024 年度)

ジャン・モネ・モジュール カンファレンス「地方の再生化：産業、経済と社会的条件」					
開催日時	2022年3月29日(火) 15:00～18:45	場所	Zoomによるオンライン開催		
概要	「地産地消による地域経済活性化における倫理的意思決定：西日本の事例に基づいて」【日本語】 岡本丈彦（高松大学経営学部准教授） 「日本の地方における固形廃棄物管理に関するステークホルダーの研究：バングラデシュの地方コミュニティ活性化プログラムへの教訓？」【英語】 タジキル・ウツジャマン・エーケーエム（関西学院大学経営戦略研究科博士課程後期課程） キース・ジャクソン（関西学院大学経営戦略研究科教授） 「日欧産業クラスター連携と地域開発」【日本語】 藤原直樹（追手門学院大学地域創造学部准教授） 「里山に再生可能エネルギーを：ドイツの例から学ぶ」【英語】 アンナ・シュラーデ（関西学院大学産業研究所准教授） 「EU グリーンディールと地域産業開発への影響：代替エネルギー産業を中心に」【日本語】 ホルガー・ブングシェ（関西学院大学国際学部教授） 「イギリスの新しい地域活性化政策：レベリング・アップ」【日本語】 フランシス・ローリンソン（関西学院大学フェロー） 司会・コーディネーター：アンナ・シュラーデ（関西学院大学産業研究所准教授）、 ホルガー・ブングシェ（関西学院大学国際学部教授）			参加者	14名
備考	主催：関西学院大学産業研究所 ※ジャン・モネ・チェア「EUの地域産業と経済発展—日本との比較」第1回プロジェクトワークショップとの共同開催。				

【2022年度】

(※所属・役職等は開催時点のもの)

ジャン・モネ・チェア講演会「日本とEU：激動の時代における戦略的パートナーシップ—経済的・政治的課題—」					
開催日時	2022年6月6日(月) 15:10～16:50	場所	西宮上ヶ原キャンパス 大学図書館ホール		
講師	ヤツェク・コザーク（駐日欧州連合代表部通商部参事官）		司会	ホルガー・ブングシェ（関西学院大学国際学部教授）	
備考	※言語：英語（通訳なし）				
参加者	7名				
日・EUフレンドシップ・ウィーク 2022 講演会「ヨーロッパの若者たち：それほど楽な人生ではない理由」					
開催日時	2022年6月21日(火) 13:20～15:00	場所	西宮上ヶ原キャンパス 大学図書館ホール		
講師	アンナ・シュラーデ（関西学院大学産業研究所准教授）				
備考	※「The European Union: History, Politics & Economy」（国際学部開講、アンナ・シュラーデ准教授）の授業を兼ねる。				
参加者	18名				
ジャン・モネ・モジュール講演会「ドイツ農村部における高齢化と医療」					
開催日時	2022年6月28日(火) 11:00～12:40	場所	西宮上ヶ原キャンパス 大学図書館ホール		
講師	マルティン・エバーツ（大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事）		司会	アンナ・シュラーデ（関西学院大学産業研究所准教授）	
備考	※「経済事情C(2020)（Declining Regions in the EU）」（経済学部開講、アンナ・シュラーデ准教授）の授業を兼ねる。 ※言語：英語（通訳なし）				
参加者	13名				
日欧農村地域アントレプレナーシップセミナー（第1回シリ丹バレー推進セミナー—関西学院大学ジャン・モネ・モジュール カンファレンス「アントレプレナーによるソーシャル・イノベーションの創出—移住、起業がもたらす農村地域社会変革の可能性を探る—」					
開催日時	2022年7月8日(金) 13:30～16:30	場所	丹波の森公苑多目的室（丹波市柏原町柏原5600）およびオンライン（Zoom）開催		
概要	挨拶 今井良広（兵庫県丹波県民局長 シリ丹バレー推進協議会幹事） 豊原法彦（関西学院大学産業研究所長/経済学部教授） 講演「アントレプレナーシップと地域活性化—学術研究からの知見—」 加藤雅俊（関西学院大学経済学部教授・アントレプレナーシップ研究センター長） 講演「南ドイツの地方におけるソーシャル・イノベーション」 アンナ・シュラーデ（関西学院大学産業研究所准教授） パネルトーク「移住者による起業・創業」 報告者：安達鷹矢（㈱ Local PR Plan 代表取締役） 坪井俊輔（サグリ㈱代表取締役） 関美絵子（兵庫県女性農漁業士） モデレーター：小橋昭彦（(特)情報社会生活研究所事務局長） 参加者とのクロストーク			参加者	102名
備考	主催：関西学院大学産業研究所、シリ丹バレー推進協議会 ※内オンライン参加者50名				

『関西学院大学産業研究所 75 年の歩み』第Ⅳ部 資料 補遺版第 3 部 (2020～2024 年度)

兵庫県立大学政策科学研究所主催 2022 年度第 2 回シンポジウム「脱炭素社会の「未来」を拓く「アンモニア」の可能性」				
開催日時	2022 年 11 月 22 日 (火) 18:00～20:00	場所	兵庫県民会館 けんみんホール	参加者
概要	<p>開会挨拶：太田 勲 (兵庫県立大学学長)</p> <p>基調講演：村木 茂 (東京ガス株式会社アドバイザー、(一社)クリーン燃料アンモニア協会会長) 「カーボンニュートラルに向けたアンモニアと水素の役割」</p> <p>パネリスト講演： 井川 太 (一般財団法人日本エネルギー経済研究所研究主幹) 「脱炭素社会に向けて—石炭の現状—」 東原 照 (電源開発株式会社経営企画部部長) 「J-POWER グループのカーボンニュートラルと水素社会実現に向けた取り組み」 齊藤公治 (関西電力株式会社エネルギー・環境企画室長) 「ゼロカーボン社会実現に向けた関西電力グループの取組み」 中村 稔 (パソナグループ顧問、兵庫県立大学政策科学研究所特任教授) 「脱炭素社会に向けた視点」 嶺重 温 (兵庫県立大学工学研究科教授 / 水素エネルギー共同研究センター長) 「アンモニアの化学的性質と本格的利活用に向けた課題」</p> <p>パネルディスカッション： 討 論 者：野村宗訓 (関西学院大学経済学部教授) 閉会挨拶：草薙真一 (兵庫県立大学政策科学研究所長)</p>			150 名
備考	<p>共催：関西学院大学産業研究所、兵庫県立大学水素エネルギー共同研究センター ※参加者数は会場参加、オンライン参加の総数。</p>			
関西学院大学産業研究所×日本貿易振興機構 (ジェトロ) ×産経新聞社 連携シンポジウム「SDGs の視点からのサプライチェーンマネジメント検証」				
開催日時	2022 年 12 月 9 日 (金) 11:00～12:40	場所	西宮上ヶ原キャンパス 関西学院会館 2 階、B 号館 202 号教室	参加者
概要	<p>開会挨拶：豊原法彦 (関西学院大学産業研究所長 / 経済学部教授)</p> <p>基調講演：佐藤 寛 (日本貿易振興機構 (ジェトロ) アジア経済研究所上席主任調査研究員) 「SDGs の視点からのサプライチェーンマネジメント」</p> <p>パネルディスカッション： ファシリテーター：山口隆之 (関西学院大学産業研究所副所長 / 商学部教授) 登壇者：三輪敦子 (国連・外交統括センター SGU 招聘客員教授) 堀内麻祐子 (株式会社センショー代表取締役) 安田奈緒美 (産経新聞大阪本社編集局経済部次長) 佐藤 寛 (日本貿易振興機構 (ジェトロ) アジア経済研究所上席主任調査研究員)</p> <p>閉会挨拶：村橋靖之 (日本貿易振興機構 (ジェトロ) 大阪本部長)</p>			380 名
備考	<p>主催：関西学院大学産業研究所、日本貿易振興機構 (ジェトロ) 大阪本部、産経新聞大阪本社 共催：日本貿易振興機構 (ジェトロ) アジア経済研究所 ※参加者内訳：開学会館 30 名、B 号館 202 号教室 350 名</p>			
講演会「日本の地域と世界を直接繋ぐ！—公的機関でのグローバルな動き方—」				
開催日時	2022 年 12 月 23 日 (金) 13:20～15:00	場所	西宮上ヶ原キャンパス 大学図書館ホール	参加者
講師	木川美樹子 (日本貿易振興機構 (ジェトロ) 奈良貿易情報センター所長)			
備考	<p>主催：関西学院大学産業研究所 共催：関西学院大学国際学部 ※「研究演習 1」(国際学部開講、王 昱教授)の授業を兼ねる。</p>			26 名
課題解決型データ分析プログラム新設記念シンポジウム「経済学は社会でどのように役立つのか」				
開催日時	2023 年 2 月 18 日 (土) 13:00～15:30	場所	西宮上ヶ原キャンパス 中央講堂	参加者
概要	<p>挨拶：小林伸生 (関西学院大学経済学部長 / 教授)</p> <p>基調講演：大竹文雄 (大阪大学特任教授) 卒業生との座談会：黒川博文 (兵庫県立大学准教授)</p>			150 名
備考	主催：関西学院大学経済学部、共催：関西学院大学産業研究所			
国際公共経済学会シンポジウム「電気料金高騰への対応」				
開催日時	2023 年 3 月 4 日 (土) 13:00～15:40	場所	兵庫県民会館 「福」会議室	参加者
概要	<p>基調講演 1：東 哲也 (経済産業省電力・ガス取引監視等委員会取引制度企画室長) 「電気料金の高騰とその対応について」</p> <p>基調講演 2：野村宗訓 (国際公共経済学会会長 / 関西学院大学経済学部教授) 「電力改革による競争が招いた弊害と求められる今後の政策」</p> <p>パネルディスカッション：「電気料金高騰への対応」</p> <p>パネリスト： 中村 稔 (兵庫県立大学政策科学研究所特任教授) 石崎 隆 (株式会社東京商品取引所代表取締役社長) 高井裕之 (EEX グループ日本代表) 土方 薫 (東北電力株式会社常務執行役員) 討論者：内山正人 (電源開発株式会社顧問)</p>			—
備考	共催：兵庫県立大学政策科学研究所・関西学院大学産業研究所			

『関西学院大学産業研究所 75 年の歩み』第Ⅳ部 資料 補遺版第 3 部 (2020～2024 年度)

【2023 年度】

(※所属・役職等は開催時点のもの)

ジャン・モネ・チェア カンファレンス「ポストコロナ時代の地域経済と産業：ヨーロッパと日本の課題」				
開催日時	2023 年 8 月 4 日 (金) 14:00～17:00	場所	西宮上ヶ原キャンパス 大学図書館ホール	参加者
概要	登壇者 (登壇順)・演題: 岡本丈彦 (高松大学経営学部准教授) 「できること」から考える持続可能な行動—行為主体の自由・行為の条件・余力を中心に ホルガー・フングシェ (関西学院大学国際学部教授) 再生可能エネルギー—地域の新しい産業と経済発展のチャンスとなるか? —「リビング・ラボ・エネルギー・アヴァンギャルド・アンハルト」のケース フランシス・ローリンソン (関西学院大学フェロー) 「レベリングアップ」: 英国における地域間格差の縮小 —なぜ英国では野心的な地域開発政策が必要なのか? またその成功の条件やチャンスとは? 藤沢武史 (関西学院大学商学部教授) 欧州主要国における外食産業の現状分析と将来展望 藤原直樹 (追手門学院大学地域創造学部教授) グローバルプロダクションネットワークと自治体地域産業政策 吉田元子 (関西学院大学法学部教授) 気候中立へ向けた EU の法的取り組み—欧州気候法の制定から Fit for 55 へ アンナ・シュラーデ (元関西学院大学産業研究所准教授) 南ドイツ農村の高齢者介護における外国人介護士			21 名
備考	主催: 関西学院大学産業研究所			
経済学部講演会「Mission Latvia. A country where determined people have a mission and ambitions—ラトビア、鋼の意思を持つ人々がミッションと大志を抱く国」				
開催日時	2023 年 10 月 3 日 (火) 13:20～15:00	場所	西宮上ヶ原キャンパス B 号館 201 号教室	参加者
講師	ズィグマルムス・ズイルガルヴィス (駐日ラトビア共和国特命全権大使)			250 名
備考	共催: 関西学院大学国際学部、産業研究所、学院史編集室 協力: 関西日本ラトビア協会			
2023 年度第 2 回兵庫県立大学政策科学研究所シンポジウム「サステイナブルな社会と日本酒の世界—脱炭素社会実現への道のり—」				
開催日時	2023 年 11 月 18 日 (土) 14:00～17:00	場所	御影公会堂白鶴ホール	参加者
概要	開会挨拶: 豊原法彦 (関西学院大学産業研究所長/経済学部教授) 第一部: 基調講演「サステイナブルな社会と日本酒の世界」嘉納健二 (白鶴酒造(株)代表取締役社長、灘五郷酒造組合理事長) 第二部: 講演 高橋俊成 (菊正宗酒造(株)執行役員・総合研究所所長)「菊正宗におけるサステイナブルな取組み」 櫻井一雅 (白鶴酒造(株)専務取締役執行役員・生産本部長)「米から見た日本酒、ビッグブランド「まる」の誕生秘話」 牧慎太郎 (兵庫県立大学政策科学研究所特任教授)「お酒と持続可能な地域づくり」 木本圭一 (関西学院大学国際学部教授)「関学日本酒振興プロジェクトの実践例と効果的な取り組み」 第三部: パネルディスカッション「脱炭素社会と日本酒文化」 討論者: 中村 稔 (兵庫県立大学政策科学研究所特任教授) パネリスト: 高橋俊成、櫻井一雅、牧慎太郎、木本圭一 司会: 津田なおみ (甲南女子大学文学部専任講師) 閉会挨拶: 田中 隆 (兵庫県立大学政策科学研究所所長)			—
備考	主催: 兵庫県立大学政策科学研究所 共催: 関西学院大学産業研究所 後援: 白鶴酒造(株)、菊正宗酒造(株)、東灘区役所、御影自治会連絡協議会、一般財団法人住吉学園、住吉歴史資料館			
関西学院大学産業研究所×日本貿易振興機構 (ジェトロ) 大阪本部講演会「さぁ、インドに行こう!～インドの魅力を探るセミナー～」				
開催日時	2023 年 12 月 4 日 (月) 15:10～16:50	場所	西宮上ヶ原キャンパス B 号館 301 号教室	参加者
講師	村橋靖之 (日本貿易振興機構 (ジェトロ) 大阪本部長)			83 名
備考	※「計量経済学 A」(経済学部開講、豊原法彦教授) の授業を兼ねる。			
関西公共経済学研究会 20 周年記念講演会				
開催日時	2023 年 12 月 9 日 (土) 10:30～17:00	場所	大阪大学中ノ島センター 8 階 カンファレンスルーム	参加者
概要	10:30～10:45 開会挨拶および「関西公共 20 年の歩み」 赤井伸郎 (大阪大学大学院国際公共政策研究科教授) 亀田啓悟 (関西学院大学総合政策学部教授) 10:45～11:45 第一部: 特別講演 司会: 赤井伸郎 (大阪大学大学院国際公共政策研究科教授) 特別講演 1: 井堀利宏 (東京大学名誉教授、政策研究大学院大学名誉教授) 特別講演 2: 岩本康志 (東京大学大学院経済学研究科教授) 13:30～14:30 第二部: 公共経済学パート 司会: 名方佳寿子 (摂南大学経済学部准教授) 実証パート: 林 正義 (東京大学大学院経済学研究科教授)、恩地一樹 (大阪大学大学院経済学研究科教授) 公共経済学理論パート: 小川 光 (東京大学大学院経済学研究科教授)、松本 睦 (名古屋大学大学院環境学研究科教授) 15:00～16:00 第三部: 財政パート 司会: 足立泰美 (甲南大学経済学部教授) 財政支出パート: 土居丈朗 (慶應義塾大学経済学部教授)、宮崎 毅 (九州大学大学院経済学研究院教授) 税制パート: 佐藤主光 (一橋大学大学院経済学研究科教授)、長谷川誠 (京都大学大学院経済学研究科准教授) 16:00～17:00 第四部: 質疑応答 司会: 上村敏之 (関西学院大学経済学部教授)			80 名
備考	主催: 関西公共経済学研究会 協賛: 関西学院大学産業研究所			

『関西学院大学産業研究所 75 年の歩み』第Ⅳ部 資料 補遺版第 3 部 (2020 ～ 2024 年度)

2023 年度第 3 回兵庫県立大学政策科学研究所シンポジウム「共生と芸術文化—持続可能社会の実現のために—」			
開催日時	2024 年 3 月 10 日 (日) 14:00～17:00	場所	AI・HALL 伊丹市立演劇ホール
概要	開会挨拶：豊原法彦（関西学院大学産業研究所長 / 経済学部教授） 第一部：基調講演 平田オリザ（芸術文化観光専門職大学学長）「芸術文化による対話型社会の構築を目指して」 第二部：講演 林 洋子（兵庫県立美術館館長）「兵庫県立美術館は、時代と地域と「共生」できるか？」 小林瑠音（芸術文化観光専門職大学専任講師）「英国アーツカウンシル：創設者ジョン・メイナード・ケインズの理念を中心に」 太下義之（同志社大学経済学部教授）「欧州の文化事業と持続可能な社会」 第三部：パネルディスカッション「異質な他者との接触と共生—芸術文化の社会的貢献—」 討論者：中村 稔（兵庫県立大学政策科学研究所特任教授） 閉会挨拶：田中 隆（兵庫県立大学政策科学研究所所長）		参加者
備考	主催：兵庫県立大学政策科学研究所 共催：芸術文化観光専門職大学、兵庫県立美術館、関西学院大学産業研究所、第 22 回知の創造シリーズフォーラム 後援：伊丹市、豊岡市、(公財) 兵庫県芸術文化協会		

【2024 年度】

(※所属・役職等は開催時点のもの)

関西学院大学産業研究所×日本貿易振興機構（ジェトロ）大阪本部講演会「一卒業生の経験談～これからのグローバル社会に求められる人材について考える～」			
開催日時	2024 年 7 月 1 日 (月) 15:10～16:50	場所	西宮上ヶ原キャンパス B 号館 201 号教室
講師	末廣 徹（日本貿易振興機構（ジェトロ）金沢貿易情報センター所長）		参加者
備考	※「計量経済学 B」（経済学部開講、豊原法彦教授）の授業を兼ねる。		
人数	204 名		
兵庫県立大学政策科学研究所シンポジウム第 1 回「日本酒のためのコメづくり—酒造好適米の歴史と持続可能性—」			
開催日時	2024 年 11 月 17 日 (日) 14:00～17:00	場所	兵庫県立兵庫津ミュージアム ひょうごはじまり館 3 階研修室
概要	開会挨拶：山口隆之（関西学院大学産業研究所長 / 商学部教授） 第 1 部：基調講演 「日本酒のためのコメづくり（酒造好適米の歴史と持続可能性）」牧 浩之（兵庫県立農林水産技術総合センター農業技術センター所長） 第 2 部：講演 「伝統を未来へ紡ぐ『山田錦』の農業遺産」佐藤慎介（兵庫県北播磨県民局加東農林振興事務所副所長） 「未来の価値観」本田龍祐（清酒龍力 株式会社本田商店 5 代目蔵元代表取締役社長） 「SDGs と気候変動対策の観点からみた農業の持続可能性」増原直樹（兵庫県立大学環境人間学部准教授） 第 3 部：パネルディスカッション 「お酒づくりと地方創生」牧慎太郎（兵庫県立大学客員教授・同政策科学研究所特定研究員）牧 浩之、佐藤慎介、本田龍祐、増原直樹 閉会挨拶：田中 隆（兵庫県立大学政策科学研究所所長）		参加者
備考	主催：兵庫県立大学政策科学研究所 共催：関西学院大学産業研究所 後援：兵庫県立農林水産技術総合センター、株式会社本田商店、兵庫県酒造組合連合会、JA 全農兵庫、三木市、加東市、兵庫県立兵庫津ミュージアム		80 名
関西学院大学産業研究所×日本貿易振興機構（ジェトロ）大阪本部講演会「万博と SDGs ～半世紀前のサステナビリティと半世紀後のサステナビリティを考える～」			
開催日時	2024 年 11 月 18 日 (月) 15:10～16:50	場所	西宮上ヶ原キャンパス B 号館 202 号教室
講師	佐藤 寛（開発社会学会 主宰、元日本貿易振興機構（ジェトロ）アジア経済研究所上席主任調査研究員）		参加者
備考	※「計量経済学 A」（経済学部開講、豊原法彦教授）の授業を兼ねる。		
人数	60 名		
兵庫県立大学政策科学研究所シンポジウム第 2 回「震災記憶の継承と地域社会—持続可能社会におけるレジリエンス—」			
開催日時	2024 年 12 月 14 日 (土) 14:00～17:00	場所	御影公会堂 白鶴ホール
概要	開会挨拶：山口隆之（関西学院大学産業研究所長 / 商学部教授） 後援者・共催者代表挨拶：竹内 統（一般財団法人住吉学園理事長）、工藤健一（神戸市東灘区長） 第 1 部：基調講演 「持続可能社会におけるレジリエンス～震災の教訓の継承と地域社会～」中村 稔（兵庫県立大学客員教授 / 政策科学研究所特定研究員） 第 2 部：講演 「0 からの出発」小菅康生（神戸市教育委員会事務局学校教育部部長） 「私の震災記憶」松本宣子（住吉歴史資料館事業推進委員） 「近年の防災行政と地域社会—震災から 30 年経過した地域コミュニティの今—」馬場美智子（兵庫県立大学大学院減災復興科学研究科教授） 第 3 部：パネルディスカッション「震災記憶の継承と地域社会」 和田真理子（兵庫県立大学大学院社会科学部准教授） 平井美紀、中上朱利、邸如堂（甲南女子大学文学部津田ゼミ） 閉会挨拶：田中 隆（兵庫県立大学政策科学研究所所長）		参加者
備考	主催：兵庫県立大学政策科学研究所 共催：東灘区役所、関西学院大学産業研究所、住吉歴史資料館 後援：一般財団法人住吉学園、甲南女子大学 ※オンライン参加あり		70 名

『関西学院大学産業研究所 75 年の歩み』第Ⅳ部 資料 補遺版第 3 部（2020～2024 年度）

兵庫県立大学政策科学研究所シンポジウム第 3 回「地球環境に優しい街づくり—脱炭素社会に向けた都市設計—」			
開催日時	2025 年 2 月 2 日（日） 13:30～17:00	場所	神戸国際会館 9 階 大会場
参加者			
概要	開会挨拶：山口隆之（関西学院大学産業研究所長 / 商学部教授） 共催者代表挨拶：山田 良（一般財団法人カンセイ・ド・アジア文化財団代表理事） 第Ⅰ部：基調講演 「みどり豊かな美しい住宅都市芦屋」高島峻輔（芦屋市長） 「持続可能で豊かなまちづくり」植田信一（大阪瓦斯株式会社常務執行役員 / エナジー・ソリューション事業部長） 第Ⅱ部：講演 「国際文化都市のはなし」島津久夫（芦屋市都市政策部長） 「脱炭素社会に向けた 3 つのまちづくり方策」松村茂久（関西学院大学建築学部教授） 第Ⅲ部：パネルディスカッション「地球環境に優しい街づくり—脱炭素社会にむけた都市設計—」 中村 稔（兵庫県立大学客員教授 / 政策科学研究所特定研究員） 植田信一、島津久夫、松村茂久 閉会挨拶：田中 隆（兵庫県立大学政策科学研究所長）		60 名
備考	主催：兵庫県立大学政策科学研究所 共催：関西学院大学産業研究所、一般財団法人カンセイ・ド・アジア文化財団 後援：芦屋市、大阪瓦斯株式会社 ※オンライン参加あり		